



申1号 第41回定期大会発言等に基づく申し入れを行う！

大会では、発生する事故・事象に対する原因究明の取り組みや、日々の安全・安定輸送の確保に向け奮闘する中、様々打ち出される施策によって職場での働き方が大きく変わり、委員会や各種プロジェクト等による負担が増加している実態、不当労働行為と捉えられかねない管理者の言動等の発言がありました。

世代交代や施策の過渡期における教育・訓練・人材育成の課題があり、事故・事象の背後要因には社員の教育が不十分であるが故に、経験が積みあがらない職場実態がありますが、その中でも業務を行わなければならない現実もあります。しかし、安全第一の職場をつくることは変わりません。

現業機関においては、主たる業務を担いながら、企画業務や委員会・プロジェクト等を行っていますが、組合員からの問題提起として「慣れない業務をしながらの乗務では負担が大きく主たる業務での落とし穴が増えるのではないかと」発言がありました。具体的には、職場で進められているプロジェクト等において、作業を進めなくてはならないとの意識から乗務の合間等でも作業に追われる実態や、管理者からは超勤抑制される実態、休みの日でもLINEでの判断を求められる等の実態の発言があり、個人貸与のタブレット等の取扱いや労働時間管理については課題があると言わざるを得ません。実際、乗務中にタブレットで乗務とは関係のない内容を閲覧している事象も発生しており、安全第一の意識が薄れているのではないかと危惧します。運転業務と企画業務の両立は体力的にも精神的にもとても負担が大きい中で、組合員・社員が日々の安全・安定輸送の確保に向けて奮闘しているのが現状です。

また、これまでも不当労働行為と捉えられかねない事象やハラスメントが発生していましたが、未だに職場において一部管理者から不適切な言動が行われている実態は看過できません。一部地方において発生している事象を重く受け止め、是正することは必須の課題です。

職場における課題を解消し、組合員が安心して働ける安全第一で風通しの良い職場をつくり出すために、団体交渉を行います！

1. JR東日本およびグループ会社・パートナー会社等で発生する事故・事象に対する原因究明を行い、世代交代や各種施策等の過程における教育・訓練・人材育成等の課題を明らかにし、技術・技能継承を確実にし、安全第一の職場風土を構築すること。
2. 現業機関において企画業務や委員会・プロジェクト等を行うにあたり、個人貸与のタブレットの取扱い方法及び労働時間管理を適正に行うこと。
3. 現業機関における委員会・プロジェクト等について、複数の兼務等により個人の負担が増加している実態を把握するとともに、組合員の安全と健康の確保を行うこと。
4. 不当労働行為と捉えられかねない事象やハラスメントが未だに発生していることに対し、一部地方においては労使議論になっていることを本社として重く受け止め、組合員が安全で安心して働ける風通しの良い職場風土を確立すること。

職場からの声で、安心して働ける風通しの良い職場をつくり出そう！